令和５年度

第１回秋田県農山村ふるさと保全検討委員会

【資料１】

中山間ふるさと・水と土保全対策事業等に関すること

秋田県の農山村振興施策の全体像（基盤・ひと・しごと・活力）

○　地域資源の核である農地、水路などの「基盤」の保全・整備を支援し、地域を下支えしつつ、農山村の活性化に向けた動きにつなげていく。

○　加えて、具体的な方向性が見出せない地域なども含め、あらゆる地域をカバーした「ひと」づくりにより、ワクワク感を持って動き出す地域の裾野の拡大と、新たな取組にチャレンジしたい地域への伴走の両面から支援しながら、同じ志を持つ者同士をネットワークでつないでいく。

○　こうした土台の上で、地域資源を生かした新たな取組にチャレンジしたい地域を支援する事業を「しごと」・「活力」の両面から総合的に展開。

（事業の関係性）

具体的な方向性が見出せない地域・課題に直面している地域

新たな取組にチャレンジしたい地域

下支え・気運醸成

気運醸成・ネットワーク化

伴走・ネットワーク化

伴走・ネットワーク化

支援

下支え・気運醸成

【しごと】未来へつなぐ元気な農山村創造事業

協議会設立

・農林漁業者・小売業者・観光業者・加工飲食業者・関係人口　など

元気な農山村創造プラン策定事業

・地域資源を活用した「しごと」を軸とした総合的な地域づくりに関する将来ビジョンを策定

農山村発新ビジネス創出事業

・キラリと光る地域特産物の創出
・「地域資源」×「他分野」の組合せによる新ビジネスの創出

→しごとや活力の創出に向けた県・国の様々な事業を紹介

【活力】あきたの農山村を支える活力創造事業

活力創造トライアル事業

・地域づくりの第一歩を後押し
→　「半農半Ｘ」を切り口とした地域づくりの可能性調査、県内の取組を推進
→　地域資源を生かした交流活動等のトライアル的取組

地域づくり総合推進事業

・地域活性化の取組を総合的に支援
→　地域資源の活用、農用地保全、生活支援にかかる調査、実証等を行う農村ＲＭＯを支援
→　農泊ビジネスの推進

【ひと】秋田県農山漁村プロデューサー養成講座「AKITA　RISE」

入門編

・地域づくりのワクワク感を醸成しつつ、実践に向けたプロセスも習得。

実践編

・課題や悩みに寄り添い、地域資源を生かしたプロジェクトに伴走支援。
・参加者の中から、県内他地域に助言するサポート人材を発掘し養成。

【基盤】（日本型直接支払、基盤整備　等）

【目指す姿】

※吹き出しを埋めるのは県ではなく各地域
目指す姿の実現に向けてチャレンジする地域を拡大

秋田県農山漁村プロデューサー養成講座

AKITA RISE

AKITA RISEに込める思い

農山漁村の活性化に向けて、
より多くの人がワクワク感を持って動き出す。
ここで出会った人たちが、ワンチームとなって
お互いのプロジェクトを高め合う。
そんな秋田の未来を創りたいという思いから、
本講座を創設しました。

（参考）
昨年度チラシ

※県内在住ではない等のやむを得ない理由がある場合、オンライン配信の視聴も可（詳細は裏面）

[基調講演１]

未来志向の地域づくり

明治大学農学部
食料環境政策学科
地域ガバナンス論研究室
小田切 徳美 氏

専門は農村政策論、農山村再生論。農山漁村を歩き、地域のあり方やそれを支える政策について、むらから国までの様々なレベルで提言を行う。著書に『農山村は消滅しない』（岩波新書）、『農村政策の変貌』（農文協）など多数。

[基調講演２]

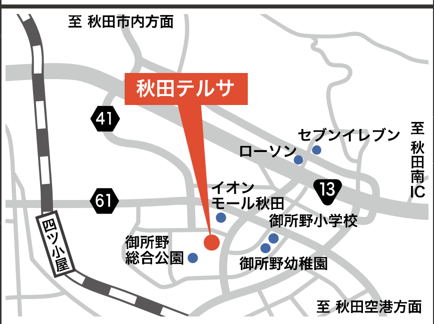
地域に飛び込む若者達の思い

Rural Labo
共同代表
MoonBase株式会社
代表
小菅 勇太郎 氏

MoonBase株式会社 代表。「生きるを自由に」というミッションのもと、都市部在住家族のための二拠点生活のサブスクサービス「Co-Sato」や、日本最大級の若者向け地域活性化コミュニティ「Rural Labo」を運営している。

会 場

秋田テルサ
〒010-1413 秋田県秋田市御所野地蔵田3-1-1



[実践編成果発表会]

実践編の受講生代表４組による事業構想の発表

ゲストハウスを軸とした田舎生活体験サービス

Ventos（にかほ市）

地域の拠点となるゲストハウスを軸として、地域資源である山と海、そして地域の人々をまるごと味わえる体験の場を提供することで、私達と同じように、都心の方が横岡地域のとりこになっていく仕組みを創る。

ブルーコーンによる鹿角地域活性化

鹿角タコス（鹿角市）

国内では希少なブルーコーンの産地化を進め、ブルーコーンチップスやタコスなどの商品を生み出し、地域活性化に向けた思いを乗せて飲食店で提供していくことを通じ、鹿角の新たな文化を地域と共に創造する。

地域のこし

株式会社
KAMURO
取締役
小野塚 真美
（湯沢市）

地域の農地、空き家を利活用しながら、7～8年後の圃場整備終了後の担い手として地域の住民と『役内ファン』との交流の場を作っていく。

子育て世代のママさん向け農業インターンシップ

菅原 望美
（潟上市）

農業の人手不足と待機児童問題を解決するため、短期間でも働き手がほしい農家と、仕事をしたくても子どもを預けられないお母さんをマッチングするインターンシップ事業を考えている。

[交流会 講座終了後 16:00～17:15（予定）]

参加者を班分けしての講師や事業構想発表者との交流やディスカッション
※参加する回ごとに新たな人と交流できるよう班分けをします！

お申し込み、詳細は裏面へ ▶▶▶

秋田県農山漁村プロデューサー養成講座詳細

入門編

内容

地域づくりのワクワク感を醸成しつつ、実践に向けたプロセスも習得。

対象者

- 具体的な方向性が見いだせていない者も含め、地域づくりに意欲のある者（学生含む）
- 農山村の地域活動に参画したいと考えている者

カリキュラム

開催	日程	講座テーマ
第1回	2022年 9/15（木）	実施済 ●基調講演 農村の超絶まちづくり ～価値創造型の[illegible]イノベーション～ BBT大学 経営学部グ[illegible]学科長・教授／ BBT大学大学院MBA[illegible]表理事　谷中 修吾 氏 ●パネルディスカッション (株)ひの里　代表取締役　佐藤渓輔 氏／NPO法人八峰町観光協会 板谷大樹 氏
第2回	2022年 12/2（金）	実施済 ●基調講演 地域づくりは子や孫への先行投資 農村着火型プランナー　髙橋 信博 氏 ●パネルディスカッション ▶官民協働で後継者対策に取り組む地域 北秋田市商工観光課　[illegible] 祐幸 氏 [協働先]ココホレ[illegible] 代表取締役社長　[illegible] 氏 ▶多角的な法人経営に取り組む地域 有限会社折林ファーム　取締役　三浦 徳也 氏 ▶魅力ある里づくりに取り組む地域 結いの里commune　代表　遠山 桂太郎 氏
第3回	2023年 3/9（木）	●基調講演 未来志向の地域づくり 明治大学農学部教授　小田切 徳美 氏 地域に飛び込む若者達の思い Rural Labo　共同代表 MoonBase株式会社　代表　小菅 勇太郎 氏 ●実践編成果発表会 ※実践編第６回と合同開催

募集要項

開催会場

- 秋田市の1会場
- オンライン配信（自宅等での試聴）

※ 本講座では会場でワクワク感を参加者同士で感じていただくことを重視しているため、オンライン配信の希望は県内在住ではない等のやむを得ない理由があり、かつ秋田への愛がある方以外はご遠慮願います。

募集人数

秋田市会場100名

※ 募集人員に達し次第締め切ります。
※ 募集人員が超過した場合は、調整させていただき3/7の10時までにお知らせします。
※ オンラインはZOOMでの実施を予定しており、3/7までにURLをお知らせいたします。

申込方法

下記の申込みフォームもしくはメールにてお申し込みください。

実践編

内容

課題や悩みに寄り添いながら、農山漁村の資源を生かした新たなプロジェクトに伴走支援。

対象者

- 取組にチャレンジ中の者
- チャレンジに向けて踏み出したい地域の者　等

カリキュラム

開催	日程	講座テーマ
第1回	2022年 10/4（火）	実施済 ●地域の魅力を活か[illegible]ジネスを作る 事業家の考[illegible] 地域の魅力×想[illegible]描く未来×地域課題から事業を再構築する
第2回	11/9（水）	実施済 ●ビジネスモデ[illegible] 地域ビジネス[illegible]のためのマーケティング理論を学ぶ
第3回	12/1（木）	実施済 ●先進事例から[illegible]体化する 他県の地域活[illegible]事例を知り、自身の ビジネスモデルに不足している要素を確認する
第4回	2023 1/27（金）	実施済 ●事業構想案[illegible]ュアップ 実現するため[illegible]を設計する
第5回	2/14（火）	実施済 ●持続可能な[illegible]構築 ビジネスモデ[illegible]性、資金調達を検討する
第6回	3/9（木）	●事業構想のプレ発表とブラッシュアップ 現状の事業構想を発表し、アドバイスを得る ※入門編第３回と合同開催
第7回	3/17（金）	●事業構想の発表 地域ビジネスの 事業構想を発表する

講座開催日に限らず個別相談にも対応し伴走支援

募集要項

開催会場　秋田市の１会場

募集人数

~~20名程度~~
（プロジェクトごとに複数名参加可）

今年度の募集は終了いたしました！

※原則、全講座通しての受講になります。
※募集人数に達し次第締め切ります。
※申込者が定員を超える場合は選定する場合があることをご理解ください。

申込方法

実践編に参加する方は入門編への参加が必須になります。入門編・第１回にご参加いただいた方に、実践編への申込用紙をお渡しいたします。

◀実践編の様子
県内各地域からエントリーがあり、座学やワークなどを通じてプロジェクトの磨き上げを進めています。

申込方法

参加希望の方は県HP又は、下記の申込みフォームからお申し込みください。

秋田県農山村振興課　検索

申込みフォーム

団体　個人

農山村振興課　公式SNS

公式SNS始めました。
来年度の講座の日程もコチラから発信します。

Facebook　Twitter　Instagram

問い合せ先
講座内容等について／秋田県農林水産部農山村振興課 調整・地域活性化班（担当：浅野）　TEL 018-860-1851
申込方法について／㈱JTB 秋田支店（担当：佐々木）　TEL 018-862-6193　✉ info_akita@jtb.com

主催：秋田県　本事業は、秋田県が、株式会社JTB・アグリコネクト企業体に委託し、実施しているものです。

AKITARISE入門編・第1回

AKITARISE入門編・第1回

AKITARISE入門編・第1回

AKITARISE入門編・第2回

AKITARISE入門編・第2回

AKITARISE入門編・第2回

AKITA RISE サポーター

農山村振興課

○AKITA RISE実践編を修了された方のうち、趣旨に賛同していただける方を「AKITA RISEサポーター」として登録させていただきます。
○「AKITA RISEサポーター」はAKITA RISE実践編での受講経験を活かし、全県の活性化に取り組むものとします。

趣　　旨

農山漁村地域の活性化に当たっては、地域資源を活かした新たな価値の創出や関係人口の拡大と深化に加え、地域自らが動き出す機運の醸成が大切であり、熱意あふれる皆さんの活動が大きな原動力となります。

AKITA RISEサポーターは、本研修で培った経験や同じ志を持った仲間とのネットワーク、県や市町村、地域づくり団体等との関わりを確かなものとしながら、百年の計にたった取組として地域の活性化に取り組むものとします。

AKITA RISEサポーターとは

- 地域を牽引（リーダーやプレイヤー）
- 地域人材のハブ（プレイヤー同士をコネクト）
- 農村づくりをプロデュース（それぞれの立場から）
- 地域内外の取組をサポート（自己の経験・知識）

地域内外でのサポート活動

	事　　項	実際の活動
1	裾野の拡大	仲間づくり、声かけ
2	地域の魅力発信	個人のSNSや業務上での発信
3	現地視察受入、助言	事例紹介、他地域への同行
4	地域活動への参画	日本型直接支払組織等のサポート
5	各種会議への出席	地域の状況報告、実例紹介

※３～５は、対応可能な場合のみ

サポーターのメリット

	事　　項	具体例
1	Ｒ５以降も伴走を継続	現地・オンライン相談
2	専門知識の習得を支援	専門家派遣（費用は県負担）
3	事業化へのフルサポート	最適な補助紹介・申請支援

「あきた田園ライフ調査事業（半農半X）」の実施状況

八峰町（R３～４）<NPO法人八峰町観光協会>

令和３年度の実施概要

○実施期間：令和３年11月８日～12月23日（２～３週間程度滞在）
○参加者　：７名（公募：東京都２名、愛知県３名、大阪府・秋田市１名）
　　　　　　※会社員２名、フリーランス５名
○作業内容：ねぎ出荷調製、菌床しいたけ出荷調製、ハタハタ選別作業
　　　　　　生薬苗ポット植替、山の手入（手伝い）

○参加者による新たな動き等
・参加者と受入農林漁業者の双方の
　インタビュー動画を参加者が制作
・参加者のデザイナーが農産物の
　パッケージをデザイン

～参加者のうち５名が八峰町を再訪～

令和４年度の実施概要

○実施期間：令和４年９月12日～12月５日（３週間程度滞在）
○参加者　：５名（公募：東京都２名、神奈川県２名、愛知県１名）
　　　　　　※会社員４名、個人事業主１名、フリーランス１名
○作業内容：ねぎ収穫・出荷調製、ミニトマト収穫・梱包、萱刈り、山の手入
○参加者による新たな動き等
　・昨年度の参加者が動画を制作、昨年度の参加者と今年度の参加者が交流

にかほ市（R４～５）<（一社）ロンド>

令和４年度の実施概要

○実施期間：令和４年９月27日～11月10日（２週間程度滞在）
○参加者　：６名
　　　　・CCCMKホールディングス(株)：３名（企業参加）
　　　　・ヤフー(株)：３名（個人参加）
　　　　（大手家電メーカー：１名（現地視察、個人参加）
○作業内容：いちじく収穫・出荷調整、ねぎ出荷調製、花卉収穫等

CCCMKHD(株)

○地域の課題解決に向けたワークショップ（WS)の実施
　・参加者に地域課題のテーマを与え、受入農家や地域プレーヤーと交流・意見交換していく中でその解決に向けたアイデアを出してもらうＷＳを実施。
　・テーマ：「後継者のいない農地を継承していくには」（CCCMKHD(株)）
　　　　　「九十九島の景観を活かした農山村地域の活性化」（ヤフー(株)）

ヤフー(株)

令和５年度の実施予定

○実施期間：令和５年９月～（予定）２週間程度滞在
○参加者　：５名程度（副業可能な企業等）
○作業内容：いちじく、ねぎ、花卉、畜産、水産業関係の作業

農村型地域運営組織形成推進事業【農村RMO】（新規：国庫定額）

事例：藤里町粕毛地域【ふじさと粕毛地域活性化協議会】

○藤里町粕毛地域は、多面的機能支払交付金による取組で農地や施設を維持管理。
○粕毛地域は「はなの民泊通り」として、農家民宿４軒、１棟貸し「南白神ベース」、農家レストランを活用し、町外の多様な人たちと交流を深めている。
○令和４年度から移住者、地域おこし協力隊等と連係し、地域の活性化構想の策定を行った。
（「秋田県農山漁村プロデューサー養成講座（実践編計７回）」にも参加し、将来ビジョンを策定）
○隣接する真土地域と連携し、農村集落の機能を補完する「農村ＲＭＯ」の形成により、地域で支え合うむらづくりに挑戦。

農用地保全（構想）

●主たる活動者
多面的機能支払「粕毛地区環境保全会」
○環境保全
・農用地保全のほか、ホタルの生息地の環境保全
・里山環境を整備し、鳥獣被害防止のための緩衝帯の設置
○将来に向けた体制整備
・高齢化対策として、リモコン式や乗用式の草刈り機の導入及び作業体制整備による省力化
・ドローンを活用した除草、農薬散布の範囲調査による散布作業等の省力化

生活支援（構想）

●主たる活動者
藤里町社会福祉協議会
NPOふじさと元気塾
○生活支援の概要
リモコン式や乗用式の草刈り機、除雪機の活用により、地域の環境保全、冬期間の除排雪作業を行う共助体制の整備。

地域資源活用（構想）

●主たる活動者
NPOふじさと元気塾
ふじさと粕毛まちづくり協議会
粕毛農家民宿まちづくり協議会
地域おこし協力隊、移住者　など

白神山地の豊富な湧水

○地域資源を活用したブランド化、加工品づくり
・南白神の里ブランドを生かし、そば、木苺、鮎、イワナなどの加工・商品開発

○交流の場の創出
・農泊施設、農家レストラン等の交流拠点を活用し、体験メニューの提供など交流の場を創出

イワナ養殖池

交流拠点「南白神ベース」

農村型地域運営組織形成推進事業【農村RMO】（新規：国庫定額）

事例：にかほ市象潟町【麓のカラコ協議会】

○にかほ市象潟町横岡地域は、県内最大規模の中山間地域等直接支払交付金で約１６０haの棚田を維持管理。
○横岡地域の「横岡稲倉そば生産組合」は令和２年度に「一般社団法人日本蕎麦協会会長賞」受賞。
○令和３年度に東京都出身の地域おこし協力隊（２０代２人　Ventos）が、鳥海山、日本海、棚田などの資源の他、地域の人柄に魅了され活動地域を横岡地域に決定し、「田舎での生活の豊かさを体感し、自分の田舎を作る」活動を開始。
○隣接する船岡地域と連携し、農村集落の機能を補完する「農村ＲＭＯ」の形成により、地域で支え合うむらづくりに挑戦。

農用地保全（構想）

●主たる活動者
　中山間地域等直接支払「横岡集落協定」
○鳥海稲倉地域「集落戦略」策定
　・農用地利活用調査（作付作物、耕作者年齢、田差など）
　・将来の農地利用構想
○将来に向けた体制整備
　・草刈り維持管理体制の確立

生活支援（構想）

●主たる活動者
　Ｖｅｎｔｏｓ
○生活支援の概要
　今後予想される買い物困難者に向けて、象潟漁港の漁師と共同で行う未利用魚、農産物等の移動販売。

漁師YouTuber（漁Tuber）
カズナリさん

地域資源活用（構想）

●主たる活動者
　Ｖｅｎｔｏｓ
　横岡稲倉そば生産組合　など
○ゲストハウス-Ｒｏｋｕｍａｓｕ運営
　「宿泊」「地域交流」「イベントスペース」
　等、包括的な機能を持つ拠点
○一次産業体験
　・農業体験
　・蕎麦打ち体験
　・漁業体験
　・里山体験
○横岡稲倉そば商品開発（そば米）
　・主に首都圏の健康志向者を対象
○横岡稲倉そば（食堂）
　・十割そば
　・キッチンカー（象潟道の駅など）
　・横岡の空き家等を利用した食堂
○伝統芸能等情報発信
　・鳥海山日立舞（県指定無形民俗文化財）
○川魚養殖
　・イワナ、ヤマメ、ニジマスなど
　・本郷地域の未利用施設を活用

秋田県中山間地域土地改良施設等保全基金の概要とその運用について

この基金は、中山間地域において農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、農地の利活用及び保全整備等の促進に対する活動支援や、地域住民活動を推進する人材育成等を図るため造成した基金であり、平成5年～平成12年にかけて10億6千万円を積み立てした。

当課は、この基金の運用益の範囲内で事業を実施してきたが、低金利により、運用益だけで事業費を確保することが困難となり、平成16年度から国指導のもと基金元本を切り崩して事業費に充てている。

＜令和４年度運用益　955千円（過去最高の運用益(H24)　5,898千円）＞

１．基金残高等について　（円）

	前年度(R3)残高 A	運用益(R4) B	R4事業費 C	取崩額 D＝B－C	R4年度末残高 E＝A+D
ふる水基金	514,987,646	568,858	10,354,425	－9,785,567	505,202,079
棚田基金	349,231,583	385,763	3,377,993	－2,992,230	346,239,353
合計	864,219,229	954,621	13,732,418	－12,777,797	851,441,432

２．基金を活用した事業一覧（Ｒ４実績）

事業名	R4実績 （うち基金）	事業内容
「あきたの農山村を支える活力創造事業」のうち 魅力ある秋田の里づくり推進事業	15,122,418 (12,452,418) ※１、※２	地域の食や伝統文化、里地里山などの地域特性を生かした交流活動や地域農産物の６次産業化など、地域が主体となった取組を支援する。
「あきたの農山村を支える活力創造事業」のうち あきた田園ライフ推進事業	10,438,553 (1,280,000) ※２	県内の農泊や半農半Ｘ等を推進し、農村地域における多様な人材の参画や関係人口の拡大等を後押しする。
計	25,560,971 (13,732,418)	

上記の※１は「ふる水基金」、※２は「棚田基金」を示す。

３．基金を活用した事業一覧（Ｒ５計画）

事業名	R5予算 （うち基金）	事業内容
「あきたの農山村を支える活力創造事業」のうち 活力創造トライアル事業	13,625,000 (7,868,000) ※１、※２	県内の多様な「半農半Ｘ」の推進、地域の食や伝統文化、里地里山などの地域資源を生かした交流活動や地域農産物の６次産業化に向けたトライアル的な取組を支援する。
「あきたの農山村を支える活力創造事業」のうち 地域づくり総合推進事業	38,227,000 (11,431,000) ※２	農村ＲＭＯの設立や農泊ビジネスの推進など地域活性化の取組を総合的に支援する。
計	51,852,000 (19,299,000)	

上記の※１は「ふる水基金」、※２は「棚田基金」を示す。

○．あきたの農山村を支える活力創造事業の令和４年度実施状況について

＜事業目的＞
地域の食や伝統文化、里地里山や水辺環境などの地域特性を生かした都市との交流活動や、伝統野菜などの地域農産物の生産及び加工・販売までの６次産業化などの農村資源を生かした取組や新しい兼業スタイル（半農半Ｘ）、農家民宿や農家レストランなどといった農泊等の多様なライフスタイルの実現に向けた体制づくり等、地域住民が主体となった取組を支援することにより、農地の維持及び中山間地域の活性化を図り、農山村を支える地域の活力を創出する。

１　魅力ある秋田の里づくり推進事業　（令和４年度実績　12,452,418円）
地域の食や伝統文化、里地里山などの地域特性を生かした交流活動や、伝統野菜などの地域農産物の生産及び加工・販売までの６次産業化など、地域が主体となった取組を支援する。

（１）魅力ある里づくりモデル事業
中山間地ならではの地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を育成するため、計画策定から拠点整備、実践活動までを総合的に支援する。

＜令和４年度実績＞　事業費　7,280,000円（うち基金5,360,000円）
・活動支援事業　1,000千円×５地域、360千円×１地域
・拠点整備事業　1,000千円×１地域、920千円×１地域（一般財源）

大学生の笹団子づくり体験

地域でのイベント開催

古民家カフェ

（２）地域づくり活動支援事業
交流活動や体験教育活動等を通して地域の活性化を図る取組を行う団体を募集し、支援する。
令和４年度までに44団体を支援。

＜令和４年度実績＞　事業費　2,600,000円
継続　２団体（100千円／団体）、新規　８団体（300千円／団体）

小学生の野菜づくり体験

古民家改修ワークショップ

里山フェスティバル開催

（３）里地里山保全活動支援事業

① 里地里山のサポート活動事業

「守りたい秋田の里地里山５０」認定地域において、県内外の企業や大学等の里地里山サポーターと協働で行う保全・交流活動等に対して支援する。

＜令和４年度実績＞　事業費1,500,000円（うち基金750,000円）

里地里山のサポート活動支援地域について

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地域名	小割沢地域（鹿角市）	大地地域（小坂町）	大里地域（鹿角市）	大里地域（鹿角市）	前山地域（北秋田市）	上羽立地域（北秋田市）
	阿仁戸鳥内地域（北秋田市）	阿仁戸鳥内地域（北秋田市）	黒土地域（五城目町）	黒土地域（五城目町）	檜山地域（能代市）	白岩地域（仙北市）
	横倉地域（藤里町）	横倉地域（藤里町）	横岡地域（にかほ市）	横岡地域（にかほ市）	綱木沢地域（井川町）	草木谷地域（潟上市）
	安全寺地域（男鹿市）	安全寺地域（男鹿市）	小沼地域（大仙市）	小沼地域（大仙市）	中村地域（五城目町）	
			三又地域（横手市）	三又地域（横手市）	東由利宿地域（由利本荘市）	
			土沢地域（湯沢市）	前山地域（北秋田市）	椒沢地域（大仙市）	
				檜山地域（能代市）	上羽立地域（北秋田市）	
				綱木沢地域（井川町）	萱ヶ沢地域（秋田市）	
				中村地域（五城目町）		
				東由利宿地域（由利本荘市）		
				椒沢地域（大仙市）		
				白岩地域（仙北市）		
計	4地域（新規4地域）	4地域（新規1地域）	6地域（新規6地域）	12地域（新規7地域）	8地域（新規2地域）	3地域（新規1地域）
累計	4地域	5地域	11地域	18地域	20地域	21地域
目標数	4地域	8地域	12地域	14地域	16地域	22地域

※活動サポート支援に係る事業は平成29年度より開始している。（支援対象期間は2年度までとし支援額は50万円／年度／地域。）

○北秋田市「上羽立地域」（令和3～4年度）

昔ながらの自然、里地里山の素晴らしい環境や守ることの大切さを伝えるため、地域内外から参加者を募り、田植え・稲刈り体験、地元番楽の披露、ほたるの鑑賞会、音楽ライブなど積極的な交流活動を実施している。

田植え体験

地元番楽の披露

○潟上市「草木谷地域」（令和4年度）

集落の農家が中心となり、地元小学生の環境学習「田んぼの楽校」や地域住民参加型の酒米栽培交流会を行っているほか、首都圏で地域の関連商品の販売などプロモーション活動を実施した。

酒米栽培交流会

プロモーション活動

②　**【参考】里地里山の営農継承事業（一般財源）**

認定地域において、耕作放棄地を防止し、里地里山の保全・継承を支援するため、新たな農地の借受者に対し、仮受のインセンティブとなるよう、賃借料相当の助成金を交付する。

・助成対象　農地中間管理機構等から新たに農地を借り受ける農業者
・補 助 率　実賃料額（１年目：10千円/10aを上限、２～３年目：１年目交付単価の半額）

＜令和４年度実績＞　　なし

③　**里地里山のプロモーション活動、情報発信等**

・秋田県種苗交換会、ブラウブリッツ秋田ホーム会場において、ポスター掲示やパンフレット配布、物産販売等を実施
・認定地域の魅力等のＰＲ（情報発信推進員による取材内容を県ホームページ等で情報発信）
・「第23回あきたの美しく豊かな農村づくり写真コンクール」を開催（秋田県土地改良事業団体連合会と連携実施）

＜令和４年度実績＞　事業費2,627,993円

ブラウブリッツ秋田ホーム会場プロモーション活動
（秋田市八橋運動公園内）

写真コンクール入賞作品
（五城目町「黒土地域」）

（４）　里づくり推進事業

・多面的機能普及・啓発：秋田県ふるさと保全検討委員会の開催、県内の小学５年生に対して多面的機能の学習パンフレットを配布（7,400部）
・農福連携研修会：福祉事業所向け農業現地研修会の実施（県内３カ所）
・（１）～（３）の推進費（旅費、需要費等）

＜令和４年度実績＞　事業費1,114,425円

２　あきた田園ライフ推進事業　（令和４年度実績　1,280,000円）

県内の農泊や半農半X等を推進し、農村地域における関係人口の拡大等を支援する。

（１）　【参考】あきた田園ライフ調査事業（一般財源）

・「半農半Ｘ」体験実証調査を八峰町（参加者５名）、にかほ市（参加者６名）で実施。

（２）　【参考】農泊ビジネス起業応援事業（一般財源）

・農泊ビジネス起業研修の実施（７名）
・農泊ビジネスの起業に必要な施設改修等への支援（１名）

（３）　いいね！Ａｋｉｔａ農泊推進事業

・農泊の受入拠点である仙北市、大館市、藤里町の農泊推進協議会が連携して、農山村への観光客の回復と変化する旅行スタイルへの対応等の受入体制の整備を実施。

＜令和４年度実績＞　事業費　1,280,000円

（４）　**【参考】田園ライフ推進事業（一般財源）**

・中山間営農型太陽光発電モデルの実証
・上記（１）～（３）の推進費（旅費、需要費等）

●．あきたの農山村を支える活力創造事業の令和５年度実施内容について

＜事業目的＞

地域の食や伝統文化、里地里山や水辺環境などの地域特性を生かした都市との交流活動や、伝統野菜などの地域農産物の生産及び加工・販売までの６次産業化などの農村資源を生かした取組や新しい兼業スタイル（半農半Ｘ）、農家民宿や農家レストランなどといった農泊等の多様なライフスタイルの実現に向けた体制づくり等、地域づくりの第一歩を後押しするとともに、地域活性化の取組について総合的な支援を行うことにより、農山村を支える地域の活力を創出する。

１　活力創造トライアル事業（旧魅力ある秋田の里づくり事業、あきた田園ライフ推進事業）

県内の多様な「半農半Ｘ」の推進、地域の食や伝統文化、里地里山などの地域資源を生かした交流活動や地域農産物の６次産業化に向けたトライアル的な取組を支援する。

（１）【参考】多様な「半農半Ｘ」推進事業（一般財源）

・「半農半Ｘ」体験実証調査を４地域で実施（継続（にかほ市）１地域、新規３地域）

（２）地域づくり活動支援事業

交流活動や体験教育活動等を通して地域の活性化を図る取組を行う団体を募集し、支援する。

＜令和５年度の計画＞　　事業費　3,200,000円

・令和４年度採択の８団体について２年目の支援を行うほか、新たに取組を行う団体を募集し、８団体を新たに支援する。

（３）里地里山保全活動支援事業

＜令和５年度の計画＞　　事業費　4,240,000円

①　里地里山のサポート活動事業

「守りたい秋田の里地里山５０」認定地域において、県内外の企業や大学等の里地里山サポーターと協働で行う保全・交流活動等に対して支援する。

・４地域で実施予定（上限500千円／地域）

②　【参考】里地里山の営農継承事業（一般財源）

認定地域において、耕作放棄地を防止し、里地里山の保全・継承を支援するため、新たな農地の借受者に対し、仮受のインセンティブとなるよう、賃借料相当の助成金を交付する。

ア　助成対象　農地中間管理機構等から新たに農地を借り受ける農業者

イ　補 助 率　実賃料額（１年目：10千円/10aを上限、２～３年目：１年目交付単価の半額）

・２．９ｈａ（２地域）を予定

③　里地里山のプロモーション活動、情報発信等

県が取り組んでいる「守りたい秋田の里地里山５０」地域の募集や認定された地域をはじめとする里地里山の保全・継承に向け、その役割や魅力を広くＰＲするプロモーション活動やパンフレット作成等を実施する。

・プロモーション活動（種苗交換会、各種イベント等）

・フォトコンテスト（あきたの美しく豊かな農村づくり写真コンクール）

・認定地域の魅力等のＰＲ（情報発信推進員による取材内容の発信等）

（４）トライアル推進事業

＜令和５年度の計画＞　　事業費　722,000円

・上記（１）～（３）の推進費（旅費、需要費等）

２　地域づくり総合推進事業（旧魅力ある秋田の里づくり総合支援事業）

農村ＲＭＯの設立や農泊ビジネスの推進など地域活性化の取組を総合的に支援する。

（１）【参考】農村型地域運営組織（農村ＲＭＯ）形成推進事業（国費）

・地域資源の活用、農用地の保全、生活支援に取り組む農村ＲＭＯの設立を支援（２地域）

（２）あきた農泊推進事業

＜令和５年度の計画＞　　事業費　8,200,000 千円

・県内の農泊地域が広域連携し、PR 等の誘客活動を実施。

・農家民宿・農家レストランの移住起業者・事業承継者向けの実践研修の実施。

・県内の農泊地域の魅力発信。

（３）魅力ある里づくりモデル事業

中山間地ならではの地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を育成するため、計画策定から拠点整備、実践活動までを総合的に支援する。

＜令和５年度の計画＞　　事業費　1,000,000円

・令和３年度に採択した１地域について、引き続き、地域資源を生かした各種取組を支援することで、地域活性化を図る。

・活動支援事業　1,000 千円×１地域

※モデル地域は全県で６地域。うち５地域は令和４年度で支援終了。

（４）地域づくり推進事業

＜令和５年度の計画＞　　事業費　1,937,000円

・小学生向け学習パンフレットの作成･配付

・農福連携研修会の実施

・中山間営農型太陽光発電モデルの実証

・上記（１）～（３）の推進費（旅費、需要費等）　など